

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	基礎数学演習第二		
英文授業科目名	Elementary Exercise in Mathematics		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	岡田 佳子		
居室	西2-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
okada @ ee.uec.ac.jp	http://webclass.cdel.uec.ac.jp/webclass/

【主題および達成目標】
(a) 主題：全学科1年次の必修科目，微分積分学第二と線形代数学第二のための留学生支援科目である。 (b) 達成瀬目標：日本語で行なわれる講義を十分理解することができ，日本語で書かれたテキストを容易に読むことができる。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
基礎数学演習第1

【教科書等】
教科書：三宅 敏恒 著『入門 微分積分』（培風館） 田吉 隆夫 著『理工系 線形代数学入門』（昭晃堂） 田吉 隆夫 編著『理工系 基礎数学演習』（昭晃堂） 配布教材

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

I. 微分積分学

- 1 偏微分
- 2 重積分
- 3 微分方程式

(微分方程式を先に行う可能性があります)

II. 線形代数

- 1 ベクトル空間
- 2 線形写像
- 3 内積空間
- 4 固有値と固有ベクトル

(b) 授業の進め方：テキストの用語と内容の説明, 演習を中心に, 理解の程度を確認しながら授業を進める. この授業のための予習, 復習は必要としない.

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：授業中に行なう演習と期末試験の結果を, 次のように総合評価する.

成績評価 = (50% × 演習) + (50% × 期末試験)

(b) 評価基準：以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする.

- (1) 概念を理解している.
- (2) テキストの演習問題を解くことができる.

【オフィスアワー：授業相談】

適宜質問, 相談に応じますが、事前にメールでアポイントを取ってくださると確実です。

【学生へのメッセージ】

日本語でおこなわれる授業になれるまで, 8ヵ月かかるといわれています。だんだんなれてきたと思いますが, あせらずに勉強しましょう。

【その他】